

領域・小問ごとの分析	対策の視点
<p>③ 図形</p> <p>1. 直線の垂直関係 正答率は81%で、よく理解されているが、問題から見てもっと正答率を高めたい。垂直の言葉の意味が理解できていない児童が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 垂直の意味を言葉だけの説明にならないように、また図を用いる場合も色々な位置での垂直関係を扱うよう留意したい。
<p>2. 平行四辺形の作図 単純な作図の問題であるが正答率は65%である。平行四辺形の性質や定義が明確でないためと思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 性質などを調べる場合は抽象的にならないよう実測を通して指導にあたるのが大切である。
<p>3. 立方体の面 正答率は75%で、大部分の児童は理解している。しかし、誤答には長方形、四角形、ひし形などが見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 立方体の性質などを指導する場合は、立方体だけを扱うのではなく、観点をきめて他の立体図形との違いに気づかせる指導が大切である。
<p>4. 直方体の辺と面の相互関係</p> <p>(1) 平行な辺 正答率は70%であるが、もっと正答率を高めたい問題である。</p> <p>(2) 辺と面の垂直関係 前問の平行関係に比較し理解が劣る。これは、垂直という用語に抵抗があるためと思われる。正答率は、55%である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 立方体の辺や面の位置関係を理解させるには、模型などの具体物を利用すること、また、用語を自由に使えるようにすることが大切である。
<p>5. 直方体の展開図</p> <p>(1) 平行な面 正答率は90%で、よく理解されている。</p> <p>(2) 重なる辺 正答率68%で、前問に比較し正答率が低い、これは、重なる辺の意味がよく理</p>	<ul style="list-style-type: none"> 展開図を書くこと、直方体を作ることを通し、展開図について理解を深めさせたい。